

令和2年度学校評価 結果

島根県立隠岐島前高等学校

* 肯定的意見の割合は、全回答者の内(回答0も含む)3または4を回答した者の割合

	生徒・保護者 評価項目	生徒による評価(4点満点)				保護者による評価(4点満点)				肯定的意見(生徒)				肯定的意見(保護者)				教員自身による自己点検評価		課題と対策
		1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体	平均	肯定的	
総務	質問1 本校の教育活動等の取り組みがホームページや島前高校だよりにより発信され、本校の広報活動につながっていると思いますか。	3.0	3.1	3.0	3.0	3.4	3.5	3.4	3.4	77.8	76.9	71.1	75.0	96.0	93.5	94.4	94.9	3.7	100.0	【総務部】ホームページについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校行事の変更やその他の多くの情報を迅速に掲載することを心がけた結果が高評価につながったと考える。しかし、まだ掲載が不十分な情報もあり、特に今後は部活動の情報をより多く掲載できるように努めたい。また、昨年度より、島前高校だよりは、見やすさを重視し、カラー印刷したものを配布している。今後も、受け取り側の立場に立った取り組みを行い、オープンスクールについては、対面によるものを島内生向けに1回、島外生向けに2回開催し、島外生向けのオンラインによるものも1回開催した。さらに、オンラインでの学校説明会も複数回行い、生徒募集に尽力した。ただ、一部の教職員への負担がかなりあり、改善していく必要があると考える。 【2年部】学年部の取り組みや生徒の様子を学年通信やClassiを利用して発信していき、広報活動の充実につなげていきたい。
	質問2 PTA・島親・地域が連携し、学校行事を円滑に運営しながら、さらなる改善が図られていると思いますか。	2.9	2.7	2.5	2.7	3.0	3.0	3.2	3.1	60.0	42.3	46.7	50.9	70.0	77.4	83.3	76.1	2.8	68.0	【総務部】年間行事予定では、例年通りの活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、すべてのPTA関連行事や地域行事の中止を余儀なくされたことが低評価の原因と考える。同様の理由により、島親の会も、昨年度は3島それぞれで実施していたが、今年度は本校を会場にした1回のみで開催となってしまった。来年度は、人権・同和教育の研究指定校ということもあり、学校評議員、PTA評議員のご意見を頂戴し、状況がどうであれ、PTA活動を行える方策を考えていく必要があると考える。 【2年部】代替研修では、CNと地域が連携し、プログラムを実施できた。特に西ノ島や知夫での研修は、学校と地域の連携を身近に感じてもらうきっかけになったと感じているので、西ノ島や知夫での体験型プログラムの検討も一案である。
	質問3 寮生が充実した寮生活を送るための指導・支援が行われていると思いますか。	2.6	2.7	2.4	2.6	3.0	2.9	2.9	2.9	35.6	50.0	40.0	40.5	58.0	61.3	55.6	58.1	2.9	68.0	【総務部】運営委員会資料、職員会議資料の前日配付に関しては改善したと考える。今年度は、例年になく変更が多いため、会議を必要とする事案が増加したと考える。現在、会議体について全教職員にアンケートを実施し、その結果を各会議の開催者に提供している段階である。それぞれの分掌、学年会、教科などで参考にし、会議の回数や時間などについて、開催者を中心に見直していただいているところである。アンケートの中に、会議の隔週開催の提案もあったので、そのような形態も視野に入れて考えていただきたい。また、運営委員会資料について、ペーパーレスでの実施を2月9日から試行する。 【1年部】会議体の見直しが必要である。
	質問4 生徒の資質・能力の育成を目指して、ICT機器の効果的な活用や図書館の充実を図っていると思いますか。	2.8	3.1	2.9	2.9	2.9	3.2	3.3	3.1	64.4	76.9	66.7	68.1	58.0	71.0	66.7	64.1	2.8	72.0	【総務部】規則の中で自分たちで寮を作り上げていくように支援を行った。しかし、寮生全員が規則を理解してその中で運営していくという意識が低いように感じた。今後は、寮の規則や体制の見直し、再度周知を徹底し、生徒たちが理解した上で自治運営をしていくように支援していきたい。 【1年部】寮生へのケアはとても重要である。ただ、寮生の数が多すぎるのが問題であると感じる。 【2年部】学年部と寮務部やハウスマスターとの連携を充実させ、寮生への適切な指導・支援につなげていきたい。 【3年部】生徒はどのような点が充実していないと感じているのかを読み取っていかねばならない。また、日々の生徒の様子などを把握するために舎監として生徒を見守り、場合によっては舎監・日直会議等においてきめ細かな情報共有をしていく必要があると考える。
教務	質問5 学校教育目標と各教科、総合的な学習(探究)の時間との関連を意識しながら、授業改善が図られていると思いますか。	3.0	2.8	2.6	2.8	3.0	3.1	3.3	3.1	73.3	61.5	57.8	64.7	66.0	58.1	83.3	69.2	2.7	72.0	【教務部】2年生は情報の授業や選択科目などICT機器を活用する機会が他学年に比べて多いため数値として高く出ていると考えられる。次年度以降、全生徒の端末一人一台を進めていくでもICT機器の授業内外における積極的・効果的な活用を目指して授業改善を進めていく必要がある。また、今年度、朝読書の廃止による生徒の読書の習慣などへの影響を図書委員会等を利用して分析し、必要な対策を考えていく。 【1年部】授業の中でICTを使うことが多くあり、授業力向上につながっていると思われる。 【2年部】HRでの読書活動やClassiでの活動記録を継続的にやり、改善に努めたい。
	質問6 探究学習プログラムを地域での実践に結びつけることを目指し、生徒の地域貢献活動の推進に取り組んでいると思いますか。	3.2	2.9	2.7	2.9	3.0	3.4	3.4	3.2	77.8	76.9	66.7	73.3	80.0	83.9	86.1	82.9	2.8	72.0	【教務部】生徒評価は学年進捗とともに徐々に下がり、保護者評価は逆に上がっていく逆の動きをしている。1年次に比較して各教科の専門性が高まることや進路探究や入試問題をベースにした教科指導から授業形態も教授形式が増える等、個別化が進むことで関連性が意識しづらいと考えられる。 【1年部】授業改善のため、学校教育目標と教科、夢探究の時間の関連を意識するようにしていく。 【2年部】総合的な探究の時間と各教科との関連を意識できるように打ち合わせで情報共有に努めたい。
	質問7 社会的自立に必要な資質、能力及び態度を身につけさせ、地域から愛される人づくりを進めていると思いますか。	2.9	2.7	2.7	2.8	3.0	3.1	3.3	3.1	71.1	65.4	62.2	66.4	76.0	74.2	80.6	76.9	2.4	44.0	【教務部】探究型の授業を進めることにより、生徒が地域への貢献についてより深く考えるようになってきている。一方、基本的な生活習慣や礼儀については、足りない部分も見受けられる。朝の立ち番などを利用し、改善に努めている。 【2年部】マナーや礼節指導などを学年会で分担しながら指導を継続していきたい。 【3年部】ルールに対して疑問を持つ生徒がいる一方、なぜそのようなルールがあるのかを考えている様子があり感じられなかった。高校の3年間を通じて、地域から愛される人間として最低限のマナーを身につけるとともにルールとは何のためにあり、なぜ守るべきなのか、常に考える意識を持たせなければならない。
生徒	質問8 生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるように、適切な支援が行われていると思いますか。	2.8	2.8	2.6	2.7	3.0	3.1	3.3	3.1	64.4	57.7	57.8	60.3	74.0	87.1	88.9	82.1	3.2	92.0	【生徒部】特別支援に関わる部分については、機会に応じて柔軟に対応することが出来ている。職員会議後にも教職員に特別支援関係の研修を行い、知己を高めることが出来ている。生徒が安心安全な学校生活を送ることが出来るよう、面談などをとおして生徒の声をきくことを引き続き勤めていく。 【1年部】特別支援教育的な視点を常にもち、生徒に対応するようしていく。 【2年部】学年会での観察と情報共有を密にし、速やかに支援ができるようしていきたい。
	質問9 部活動加入を奨励し、生徒の主体的な取り組みを支援しながら部活動の充実を図っていると思いますか。	2.7	2.4	2.7	2.6	2.9	2.8	3.2	3.0	57.8	34.6	53.3	50.9	62.0	61.3	80.6	67.5	2.3	36.0	【生徒部】コロナ禍でもあり部活動が制限されている状態が続いている。制限がある中においても、オンラインなど、感染リスクが高くないように工夫している部活動も見られる。部活動は生徒の成長に資することが多いため、機会を見て部活動加入を勧めたい。 【2年部】部活動に加入している生徒の支援に力を注いでいきたい。
キャリア教育	質問10 総合的な学習(探究)の時間、面談などを通して、進路実現のために個に応じた支援がなされていると思いますか。	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	3.2	3.1	3.1	75.6	73.1	77.8	75.9	72.0	80.6	80.6	76.9	2.9	80.0	【キャリア教育部】生徒・保護者の約7割、教職員の8割が肯定的意見であった。今後も授業や面談での状況、模試結果から生徒一人ひとりの課題を分析・把握して、学力や学習習慣を身につけさせる個別支援を充実させていきたい。また、志望理由書や小論文の書き方講座などはこれまで3年次になってから指導を開始していたが、生徒の進路・学習のモチベーションを意識した行事を3年間を見通して低学年次から計画的に実施したい。 【2年部】担任や副担任との面談や教科担任との面談をとおして、進路実現への支援の機会を増やしていきたい。
	質問11 学びみらいPASSや模試成績などの具体的なデータに基づき、生徒の希望進路に沿った適切なアドバイスがなされていると思いますか。	2.9	2.7	2.7	2.8	2.8	3.0	3.0	2.9	64.4	53.8	55.6	58.6	58.0	71.0	72.2	65.8	2.7	64.0	【キャリア教育部】今年度から1・2年生の7月・11月・1月の進研学力テストは全員受験となった。負担感のある生徒もいるだろうが、全国レベルで自分の学力の位置を把握できる学力テストの効果はやはり大きく、客観的なデータに基づくアドバイスは説得力があると考えられる。今後は、どの学年においても前回模試を基にした目標点、弱点克服のための対策を考え、それを実現するためのスケジュールを作成させたい。また、結果が返ってきたら、自身の取り組みを振り返り、次回につなげるよう学年会と連携して指導を行う。さらに、各教科担当は、問題の傾向や学年全体の結果に基づく分析を行い、個々の生徒への声かけをしながら、定期考査や週末課題の内容にも反映させていくよう、教科会との連携を一層強める。 【1年部】学年部全体で個別の面談を複数回行い、個に応じたアドバイスを行っている。 【2年部】キャリアプラン検討会の振り返り面談や教科面談を実施し、生徒へのフィードバックの機会を増やしていきたい。
	質問12 生徒・保護者に対して進路に関する情報が提供され、生徒が主体的に進路を選択し、決定できる能力の育成を図っていると思いますか。	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	3.0	3.1	2.9	68.9	50.0	68.9	64.7	58.0	67.7	77.8	66.7	2.7	60.0	【キャリア教育部】進路・入試情報は、クラスへの情報誌提供、キャリア教育だよりや科目選択説明会、ホームルームなどでの説明・指導を行っている。コロナ禍で、大学・企業見学、インターシップなどの進路行事も中止となったが、1年生に対してはオンラインでの進路講話や進路別・学部別ガイダンスなどを実施した。今後は、どの学年においても生徒だけでなく保護者を対象にした進路ガイダンスを行うことも視野に入れ、親子での話し合いのきっかけづくりとしたい。 【2年部】学年通信をとおして進路情報の提供機会を増やしていきたい。 【3年部】進路決定までにかかり時間を要した生徒が一部いた。理由は様々だが、今年度に関しては教員(担任等)、保護者、生徒と顔を突きあわせて話し合う機会が多く取ることができなかったことも一因として考えられる。三者が同じ目標を共有できるように早い段階で連絡体制を整えたい。
	質問13 学校と地域が連携し、生徒が人間的に成長する機会をつくれていると思いますか。	3.0	2.8	2.8	2.9	3.2	3.3	3.4	3.3	68.9	57.7	64.4	64.7	80.0	80.6	86.1	82.1	2.6	56.0	【1年部】夢探究の授業では地域の方をお招きし、ゲストトークを実施するなど生徒が地域について考えるきっかけとしていく。 【2年部】地域と連携する機会を積極的に取り入れ、生徒にも積極的な地域活動を推進していきたい。 【魅力化S】保護者の評価と教職員の評価が二分しているところに課題があると感じている。「連携とは何か」「人間的成長とは何か」を改めて教職員、地域、保護者で共有する機会をつくってきたい。